

Outcomes of the My Therapy self-management program in people admitted for rehabilitation: A stepped wedge cluster randomized clinical trial

My Therapy 自己管理プログラムの入院リハビリテーション患者におけるアウトカム

Natasha K. Brusco

Annals of Physical and Rehabilitation Medicine. 2024, (67) 101867

## 背景

- ・入院リハビリテーションにて推奨される 1 日の治療量（約 3 時間）に対し、多くの施設で実際に提供されている直接的なセラピストによる治療時間は不足している。
- ・患者の機能回復には、セラピストによる指導だけでなく、患者自身の積極的な関与と自己管理能力の向上が重要であると考えられる。
- ・セラピストのリハビリテーション以外に、患者が安全かつ効果的に自主練習を行うための体系的なプログラムが不足しており、その効果や安全性に関するエビデンスは少ない。

## 目的

通常のケアに加えて、自己管理プログラム「My Therapy」を提供することで、①機能的自立度の向上、②安全性・費用対効果・プログラムにおける障壁と促進要因にどのような影響を与えるかを評価する。

## 方法

研究デザイン：Stepped Wedge（ステップドウェッジ）クラスターランダム化試験

包含基準：リハビリテーション病棟に入院した 18 歳以上の成人患者（オーストラリア 4 病院、9 リハビリテーション病棟）

除外基準：オーストラリアの国民皆保険制度未適応の者、介入群と対照群の両方に曝された患者（病棟のクロスオーバー期間中など）、試験期間外に入院または退院した患者

評価尺度：

- ・機能的自立度評価尺度（Functional Independence Measur : FIM）  
FIM において MCID (22 点) を達成した参加者の割合/入退院時の FIM 合計スコアの変化量
- ・リハビリ病棟入院期間（日）
- ・総入院期間（急性期+リハビリ病棟入院期間）
- ・退院後のフォローアップ（はい/いいえ）
- ・自宅退院（はい/いいえ）
- ・手術を受けた参加者の場合：術後 30 日までの自宅での生活日数

(Days At Home up to 30 days after : DAH30)

- ・健康関連 QOL (EuroQol 5 Dimensions 5-Level : EQ-5D-5L) 入院時と退院時に評価
- ・安全性（リハビリ病棟入院中の転倒回数：インシデント報告書）

## 統計

- ① FIM (MCID) 達成の有無、FIM 合計スコア変化量（入院時からの退院時の変化量）  
方法： 多変量混合効果ロジスティック回帰分析 (FIM MCID) / 多変量混合効果線形回帰分析  
(FIM 合計スコア変化量)
- ② 退院後のフォローアップ参加の有無（はい/いいえ）、自宅退院の有無（はい/いいえ）  
方法： 多変量混合効果ロジスティック回帰分析
- ③ リハビリ病棟入院期間（日数）、総入院期間（急性期+リハビリ病棟入院期間）、術後 30 日までの自宅での生活日数、健康関連 QOL、安全性（有害事象発生率など）  
方法： 多変量混合効果線形回帰分析

## 結果

Table 1 : ベースライン特性

Table 2 : My Therapy プログラムの実施と参加

Table 3 : 主要アウトカムに対する詳細

Table 4 : 副次アウトカム、安全性に対する詳細

## 結論

My Therapy プログラムは、入院リハビリテーション患者の日常的なリハビリテーション参加量を安全に増加させた。しかし、機能的自立度 (FIM) の有意な改善は認められなかった。この結果は、自己管理プログラムと他の戦略を組み合わせる必要性が示唆される。